

農 業

関東平野の南部に位し、穏やかな気候と広大な沃野に恵まれた本県は、全国有数の米の生産県であるとともに、東京、神奈川の大消費地と直結する生鮮食料品の供給県として、有利な条件を備えている。

本県の経営耕地面積は17万町歩で、県面積の34%に当り、全国が16%であるに比し極めて大きい。また、農家数は19万戸、農家人口は115万人を数える。これは総世帯数の4.5割、総人口の2.3割に当る。このうち専業農家が51%、兼業農家が49%である。このように兼業農家が多いのは農業生産額が県内生産額の33%に過ぎない状況からみて、農業所得のみに依存することが出来ないからである。

また、農家一戸当りの経営耕地面積は、昭和14年1.2町であつたが、昭和32年には0.90町である。これは戦後における引揚者、戦災者の帰農、及び農家二、三男の分家による農家戸数の増加によるものであり、現在でも小さい農家の経営規模を更に細分化する結果となつたのである。

本県の水陸稲収穫面積は10万町歩で、全耕地の60%を占め、その収穫量は昭和31年度には240万石であり、全国屈指の穀倉県でもある。

甘藷もまた実に1億4千万貫程度の収穫をあげ、全国第2位である。

また、野菜の生産も多く落花生の収穫高は全国の約6割を占める。